

2019年10月23日

各 位

株式会社 第四銀行

**TSUBASAアライアンスを活用した  
企業年金基金の日本版ステュワードシップ・コードの受入れ表明について  
～「TSUBASAアライアンス」連携施策～**

株式会社 第四銀行（頭取：並木 富士雄）は、「TSUBASAアライアンス<sup>※1</sup>」を活用して、第四銀行企業年金基金（理事長：殖栗 道郎）ほかTSUBASAアライアンス参加各行の企業年金基金<sup>※2</sup>が「責任ある機関投資家の諸原則（日本版ステュワードシップ・コード）」（以下、「SSコード」）の受入れを表明したことをお知らせします。

SSコードとは、金融庁が2014年に制定した機関投資家のための行動規範のことです。投資と対話をつうじて企業の持続的成長を促すために、投資先企業の経営モニタリングや議決権行使の基準・結果の開示などを定めています。

近年、企業年金基金がSSコードの受入れを表明することで、投資先企業の統治改善や運用委託先の監視に積極的に関与していく機運が高まっています。企業年金基金によるステュワードシップ活動の強化は、母体企業のコーポレート・ガバナンスの充実にもつながるほか、従業員の安定的な資産形成や自社の財政状態にも好影響を及ぼすとされています。

今回、TSUBASAアライアンス参加各行の企業年金基金がSSコードの受入れを検討するにあたり、情報や認識を共有しながら準備を進めたことで、同時期<sup>※3</sup>に全企業年金基金の受入れ表明に至ったものです。

今後も、TSUBASAアライアンス参加行はノウハウや知見を結集することで戦略的アライアンスを一層加速させ、付加価値の高い金融サービスの提供等をつうじて地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

- ※1 当行、北越銀行、千葉銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行の9行が参加する地銀広域連携の枠組み。
- ※2 北越銀行、千葉銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、武蔵野銀行の各企業年金基金。北洋銀行、滋賀銀行は企業年金基金を有しておりません。
- ※3 当行、北越銀行、千葉銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行の各企業年金基金の表明日は2019年9月30日。武蔵野銀行企業年金基金の表明日は2019年10月18日。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】 電話：025-229-8121

総合企画部／田村

